

水辺の話題

多自然型河川工法シンポジウム開催される。

平成2年8月29日、当センター主催で建設省、スイス連邦大使館の後援を得てリバーフロントシンポジウム「多自然型河川工法を考える」が東京大手町のサンケイ会館で盛況のもと開催されました。

シンポジウムは、講演に先立ちスイス大使館ジャン・レル参事官のご挨拶をいただき、日本・スイス両国の友好ムードあふれる国際色豊かなものとなりました。

内容としましては、まずスイスよりチューリッヒ州建設局の河川建設技術者であるクリスチャン・ゲルデ

イ氏をむかえ、「ヨーロッパにおける多自然型河川工法について」と題した特別記念講演の後、福岡捷二東京工業大学助教授、水野信彦愛媛大学教授および建設省流域治水調整官渡辺浩(前研究第一部長)とともに生態系に配慮した河川工法の考え方と日本の河川伝統工法等についての座談会を行いました。

シンポジウムに参加した者にとって今後の河川の在り方を考えるうえで実に有意義なものでした。

「国際漁道会議ぎふ'90」が開催される

平成2年10月8日から10日までの3日間、岐阜市において、岐阜県主催の「国際漁道会議ぎふ'90」が開催されました。この会議は、漁道に関する学識者や技術者の方々がそれぞれの研究や経験を交流する場として、世界で初めて開催されたものです。

まず、チャールズH.クレイ氏をはじめとする世界各国の漁道の権威者である8名の方々の特別講演と、これらの講演者をパネリストとしたディスカッションが10月8日に行われ、10月9日からは2会場に分かれて、

国内外の科学者、技術者による69の論文が発表されました。当センターからは、「多自然型河川工法における漁道等の事例」について研究発表を行いました。また、最終日の10月10日には4コースに分かれて馬飼頭首工等の現地見学が行われました。

論文は世界の漁道の今日的な課題についての研究論文が多く、関係者の相互理解と情報交換の場として大変有意義なものでした。

〈出版物案内〉

「今、話題の水文化を語る文化誌」

月刊「FRONT」

1,600円(税、送料込み)

「美しいカラー写真295枚で紹介」

「世界のウォーターフロント PART I」

4,120円(税、送料込み)

「川と人とのふれあい367km」

「信濃川水紀行」

2,500円(税、送料込み)

上記3誌については財団法人リバーフロント整備センターに直接お問い合わせ下さい。

「多自然型建設工法の理念と実際」

「まちと水辺に豊かな自然を」

定価 1,800円(税込み)

編集 財団法人 リバーフロント整備センター

発行及び申込み先

株式会社 山海堂

TEL 03-816-1617・FAX 03-816-1619

「全国で展開されている美しい水辺づくりの試み・第2弾」

「ふるさとの川をつくるⅡ」

—— ふるさとの川モデル事業整備計画事例集(Ⅲ) ——

監修 建設省河川局 定価6,800円(本体価格6,602円)

編集 財団法人 リバーフロント整備センター

発行 (株)大成出版社

北欧水辺空間整備 調査団員募集

- ① 視察国 スウェーデン・ノルウェー・デンマーク
フィンランド・フランス
- ② 日程 平成3年6月23日(日)～7月5日(金) 13日間
- ③ 募集人数 20名程度
- ④ 旅行代金 お一人当たり 92万円
- ⑤ 募集期間 平成3年1月中旬～4月中旬

(注) 上記は予定につき、諸般の事情で変更する場合があります。詳細は業務部におたずね下さい。



財団法人リバーフロント整備センター

〒102 東京都千代田区一番町6-4 一番町エイトワンビル6階

TEL.03-3265-7121 FAX.03-3265-7456